

## 新型コロナウイルスに係る大会運営マニュアル

### 【会場に関する事項】

- ①発熱や咳など風邪の症状がある選手、大会関係者や保護者は会場内への立ち入りを禁止する。
- ②本部（クラブハウス）へ入室は関係者以外禁止とし、入室する際はマスクを着用する。
- ③本部（クラブハウス）はこまめに換気を行い、外気を取り入れる。ドアノブ、テーブル、椅子等の除菌を行う。
- ④会場内では、必要に応じてこまめに手洗いをを行う。チームは手洗いのハンドソープを用意する。また、消毒用アルコールも用意する。  
※チームで用意できない場合は、個々の生徒に用意し携帯するよう指示する。
- ⑤待機場所は、「密閉」（＝換気の悪い閉鎖空間）「密集」（＝人が密集）「密接」（＝近距離での会話）の三つの要素が重なるような状況を作らない、可能な限り屋外とする。
- ⑥食事等は、開放空間で行う。近接や向かい合っでの食事は避ける。

### 【試合に関する事項】

- ①起床時、体温をチェックする。発熱等体調不良の場合は、引率責任者の先生や監督に必ず報告する。また、試合コール時も検温する。
- ②ベンチの椅子等は試合前後に各チームで除菌する。
- ③開始時の挨拶、オーダー交換、終了時の挨拶時は、全員マスクを着用し、大声をあげての挨拶を控え、握手はしない。
- ④試合終了時は、選手間の握手、審判との握手は行わず、しっかりと礼を行う。
- ⑤円陣を組むなど密集状況を作らない。
- ⑥ダブルスで、インプレーでない時間の最小距離はラケットタッチできる程度までとし、会話は必要最小限の内容を短時間で済ませること。
- ⑦コート、ベンチでの咳やくしゃみは、腕等で口や鼻を覆う。
- ⑧ハイタッチ等接触することを禁止する。
- ⑨タオルなどは個人のもので使用し、絶対に共用をしない。
- ⑩水分補給時は自分で用意した飲み物以外は絶対に飲まない。
- ⑪試合終了後は、選手、審判は手洗い、うがい、水分補給を行う。

## 【観客・応援に関する事項】

- ①発熱、咳、倦怠感、咽頭痛、嗅覚や味覚の異常がみられる場合には、会場への入場をしない。
- ②応援選手を含めマスクを着用する。マスクの持ち合わせがない人は、観戦を辞退していただく。  
※熱中症の恐れがある場合は、個々の判断でマスクの着脱を認める。ただし、この場合は個々の間隔を2 m以上確保する。
- ③観戦客及び応援選手は、極力前後左右2 m（最低1 m）以上間隔を空ける。
- ④声を出しての応援を禁止する。
- ⑤拍手による応援は認める。
- ⑥ゴミはすべて各自が持ち帰る。
- ⑦控え部員、保護者等の取りまとめは、引率責任者が行う。
- ⑧大会役員は、上記注意事項が守られているか定期的に会場内を巡回する。

## 【感染者が出た場合の対応】

### <選手が通う学校で感染者が発生した場合>

- ①学校の措置が最優先であることを基本に、休校になった場合は原則その学校は大会を辞退する。
- ②休校にならなかった場合でも、選手が感染しているなど、その状況によって判断し、辞退になることがある。

### <チーム内で感染者が発生した場合>

- ①保健所に相談するとともに、各支部テニス専門部、北海道高体連テニス専門部、北海道高体連事務局に報告する。下記以外にも様々な事象があることから指導者のみで判断せず、関係各所にアドバイスを受け適切な判断をする。
- ②指導者及び選手が感染した場合、その本人を活動停止（完治するまでの期間）とする。
- ③指導者及び選手が濃厚接触者として指定された場合、PCR検査か健康観察期間が終わるまでの期間、活動を停止する。
- ④指導者及び選手の同居人が濃厚接触者でも、本人が濃厚接触者として指定されず、しかも症状がない場合は活動可能。
- ⑤感染者等が発生した場合、保健所等の追跡調査に協力する。必要に応じて、各支部テニス専門部、北海道高体連テニス専門部に報告する。
- ⑥感染者が発生した場合は、北海道高体連等の関係団体等と協議の上、チームの活動停止、大会出場停止などの判断を下すことがある。

誰が、いつ、どこで感染してもおかしくないという共通認識を持って、偏見などが起こらないように対応して下さい。感染者や濃厚接触者が出ることで、プライバシーの問題やチーム内での孤立が起こる可能性がありますので、十分に理解を得られてから活動をするようにして下さい。